

# 温泉で、仮設住宅生活の疲れを癒す

## いわて生協「リフレッシュツアー」開催

いわて生協・ふれあいサロン(窓口:いわて生協本部)では、被災者のためのお茶会や軽い体操、手芸などの会を定期的で開催しています。2012年より、「リフレッシュツアー」として、沿岸部の被災された方を温泉などにお連れし、心身共にゆっくりしてもらおうというツアーも始まりました。13年1月23日には、「花と緑と安らぎのある東和温泉」(岩手県花巻市東和町)への日帰りバスツアーが開催されました。



到着して一息つく参加者たち。おしゃべりをしたり、昼寝をしたり、各自、自由に過ごす。



折り紙で、節分の鬼づくり。「季節を感じられるものがあるとうれしいです」。

### ●離れた友達とも再会

ツアーに参加したのは、陸前高田市内の3カ所の仮設住宅(長部小学校グラウンド仮設住宅・二日市仮設団地・中田雇用促進住宅)の皆さん計31人です。

朝9時に長部小学校グラウンド仮設住宅を出発したバスは、二日市仮設団地と中田雇用促進住宅を經由して約2時間半で東和温泉に到着しました。

「あっ○○ちゃん!」「わあ、来ると思ってた!」「久しぶり!」バスに乗り込んでくる顔を見て声が上がります。

「今回のツアーは『温泉でのんびり』もうれしいけど、普段なかなか会えない別の仮設住宅の友だちや親類に会

えるのもとても楽しみだと思いますよ」

そう話すのは、ツアーのまとめ役をつとめるボランティアの菅野悦子さん。ご自身も被災されて仮設住宅で暮らしていらっしゃる。「都会と違って、皆さん大きなお家に住んでいたの、狭い仮設住宅のくらしは何かと不自由だと思います。ご家族を亡くされている方も多いので、ひと時でもリフレッシュしていただきたいです」

### ●広いお風呂でリフレッシュ

東和温泉では、ご飯や温泉を楽しみました。

「普段は一人で食べるから。やっぱり、みんなで食べるのはいいね」、「仮設住宅のお風呂は狭いから、足を伸ばして入れるのはとても気持ちがいいね」との声。「皆さん、本当に遠くからボランティアで来てくれて、驚くね。自分だったら、できないと思う。トシ? 聞かないでよ(笑)」との一言に、笑いが広がります。

お風呂上りは、おしゃべりに興じ

たり、節分に飾る「鬼」を折り紙で作るなど、めいめいがゆっくりした時間を楽しみました。

「広いお座敷でみんなでお茶飲んでしゃべれるのは気が紛れるね」

座敷の窓の外は雪がたくさん残っていましたが、太陽の光でキラキラと輝いていました。

「ああ、雪がきれいだねえ」とおっしゃった方は、「雪や月を『きれい』と思えるようになったのは、つい最近のことなの」と話していました。

この日は、傾聴ボランティアの吉田良子さんもスタッフとして参加していたことが功を奏したのか、被災当時の話を「初めて話すことができました」とおっしゃる方もいらっしゃいました。吉田さんは、「皆さん、『ありがとう』としかおっしゃらないけど、本当は言いたいことはまだまだいっぱいあると思います」とのこと。

被災された方がリラクセスし、さまざまな話ができる雰囲気作りもリフレッシュツアーには求められています。